


第10回

# ユニットケア 全国セミナー

10th



一人ひとりの願いや思いに応えるケアを考える  
この10年を振り返り、「ユニットケア」がこれからも持続し、  
発展し続けるための議論を展開します。

2008年10月7日(火) - 8日(水)

会 場：札幌コンベンションセンター

(〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

主 催：「第10回ユニットケア全国セミナー」実行委員会

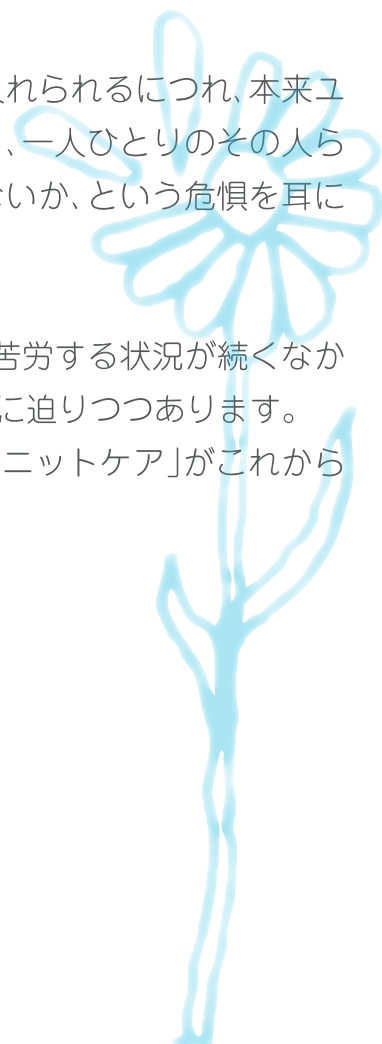
# 趣 旨

## 一人ひとりの願いや思いに応えるケアを考える ～これまでの10年の歩みを検証し、これからを展望する～

「施設に暮らすお年寄り一人ひとりの暮らしに向き合い・支えたい」「介護現場をなんとか変えたい」という思いから誕生したユニットケアは、2000年度以降、国の施策としても取り入れられるようになり、2002年度には全室個室の流れとともに制度化されました。

「ユニットケア」という言葉が定着し、多くの実践現場で取り入れられるにつれ、本来ユニットケアが目指した「施設に住まうお年寄りの思いをくみとり、一人ひとりのその人らしい暮らしを実現する」という理念が薄らいできているのではないか、という危惧を耳にするようになりました。

さらには、介護保険報酬の度重なる見直しや、介護職の確保に苦勞する状況が続くなかで、「ユニットケア」を持続することが困難な風潮と現実が目の前に迫りつつあります。10回目を迎える今回のセミナーでは、この10年の振り返り、「ユニットケア」がこれからも持続し、発展し続けるための議論を展開します。



10/7  
[火曜日]

12:30～12:50

12:50～13:50

13:50～14:20

14:20～14:35

14:35～16:25

16:25～16:40

# Seminar Program プログラム

## セミナー1日目

開 会

- 主催者あいさつ「第10回ユニットケア全国セミナー」実行委員会 実行委員長 湯 浅 国 勝
- 歓迎あいさつ （来賓祝辞）

### ユニットケアへのいざない 「進化する北海道の施設ケア！」

官民協働でユニットケアを推進してきた「北海道ユニットケア推進会議」から6年。  
全国の皆さんに、進化する北海道の従来型・新型のユニットケア施設の実践を紹介し、解剖します。

- パネラー  
特養・上士幌 すずらん荘(北海道:従来型) スーパーバイザー 石 川 京 子  
特養 やすらぎ荘(北海道:新型) 総合施設長 福 森 和千代
- コーディネーター  
ジャーナリスト 泉 田 照 雄

### ユニットケア検証 北海道老人福祉施設協議会・協働企画

#### 北海道・特養検討委員会“ユニットケア・個別ケア”に関するアンケート調査報告

北海道老施協が2007年9月、会員対象に行った“ユニットケア・個別ケア”に関するアンケート調査  
を基に、それぞれの地域事情にあった介護手法を模索し実践していくための報告をします。

- 報告者  
北海道老施協・特別養護老人ホーム検討委員会 委員長 迫 立 正 夫  
(特養・羊蹄ハイツ 施設長)

休 憩

### ディスカッション 「高齢者施設改革の分水嶺～施設の現状にみる高齢者介護の実態とは～」

介護保険制度の成立以降、施設介護は制度改革の波にさらされ続けてきました。制度改革に翻弄される  
利用者の立場から施設の現状を見据え、高齢者施設の抱える課題を明らかにします。

- パネラー  
高齢社会をよくする女性の会 副理事長・作家 沖 藤 典 子  
(社会保障審議会委員・同審議会介護給付費分科会委員)  
北海道認知症高齢者グループホーム協議会 会 長 武 田 純 子  
北海道老人保健施設協議会 会 長 西 澤 寛 俊  
全国老人福祉施設協議会 副会長 中 田 清  
(社会保障審議会介護給付費分科会委員・社会保障国民会議委員)  
厚生労働省老健局計画課 課長補佐 藤 田 一 郎
- コーディネーター  
日本福祉大学社会福祉学部 教 授 平 野 隆 之

休 憩

## 特別講演 「これからの高齢者の医療・介護・福祉を考える」

東京大学

名誉教授 大 森 彌

### 大森彌氏プロフィール

- ◆1940年東京生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。  
法学博士。東京大学教養学部教授、千葉大学法経学部教授を歴任。  
東京大学名誉教授。
- ◆現在、内閣府独立行政法人評価委員会委員長、社会保障審議会介護給付費分科会長、  
社会保障国民会議サービス保障分科会座長などを務める。

## 鼎談 「一人ひとりの暮らしを支える高齢者施設のこれからを考える ～住み慣れた自宅や地域で、その人らしく最期まで～」

一人ひとりのお年寄りが、その人らしく暮らしてもらうために施設現場から生まれたのが「ユニットケア」です。介護保険の見直しに向け、今改めてユニットケアの意味を確認し、施設のこれからを議論します。

### ●鼎談者

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会  
東京大学  
福祉と医療・現場と施策をつなぐ「えにし」ネット志の縁結び係&小間使い  
国際医療福祉大学大学院

代 表 武 田 和 典  
名誉教授 大 森 彌  
教 授 大 熊 由紀子

懇 親 会（京王プラザホテル）

## セミナー2日目

### 分科会1 公開講座

## ユニットケアがイチからわかる!! ＝新人職員のためのユニットケア講座＝

ユニットケアと従来の施設ケアとの違いは何か。  
試行錯誤のなかから生まれたユニットケアの意味を、誰にでもわかりやすく紹介します。

### ●パネラー

特養・レインボーハイツ(北海道)  
特養・パルシア(宮城県)

施設長 石 丸 司  
施設長 折 腹 実己子

### ●コーディネーター

旭川大学保健福祉学部

教 授 白 戸 一 秀

### 分科会2

## ユニットケアの空間・環境づくり

施設におけるさまざまな問題や職員の気づきなどに、空間環境づくりが与える影響を考えるとともに、PEAP(ピープ)という手法を用いた環境づくりの方法を紹介します。

### ●パネラー

特養・のぞみの園(北海道)  
特養・ミス・プール記念ホーム(大阪府)

副施設長 鈴 木 雅 貴  
ユニットリーダー 苗 村 み き

### ●コーディネーター

和歌山大学システム工学部

教 授 足 立 啓

16:40～17:20

17:20～18:30

19:30～21:00

10/8

[水曜日]

10:00～12:00

### 分科会 3

## 最期までその人らしく —終末期ケアの実践・職員と家族の関わりから—

「最期までその人らしく」を実現するには、節目節目の家族との対話とともに、施設内外の関係者との連携が重要です。家族と施設、専門職が協働する「終末期ケア」の実際を紹介します。

#### ●パネラー

特養・芦別慈恵園(北海道)

施設福祉課長

川 辺 弘 美

特養・暁谷苑(大分県)

施設サービス課長

森 本 尊 子

#### ●コーディネーター

札幌市保健福祉局

保健所長

館 石 宗 隆

### 分科会 4

## 人材難を乗り越え、職員を育てる組織づくりのために!

介護の現場に働き手が来ないという現実、全国で深刻さを増しています。お年寄りの暮らしへの満足度アップが、職員の満足度をも引き上げる。職員が育ち、育ち合う職場こそ、魅力ある組織へと展開していきます。

#### ●パネラー

特養・鷹栖さつき苑(北海道)

施設長

波 湍 幸 敏

特養・多賀清流の里(滋賀県)

施設長

藤 居 眞

#### ●コーディネーター

ジャーナリスト

泉 田 照 雄

### 特別講座

## ケアリーダー育成プログラムを考える(ユニットケア自己点検) ～ユニットケア施設のリーダーのための講座～

ユニットケアに必要なモチベーションのつくり方、小さい組織運営のなかでの時間のつくり方、リーダーシップの意味と内容、新人研修の持ち方など、ユニットケア施設のケアリーダーのための講座です。

#### ●講師

生活介護研究所

所 長

坂 本 宗 久

10:00～12:00

12:00～13:00

昼 食・休 憩

13:00～15:00

## 北海道発「地域住民とともに築くユニットケアを求めて」 ～一人ひとりの願いや思いに応えるケアを考える～

お年寄りの暮らしが、たとえ施設で暮らしていても、その中だけで完結しないのと同じように、ユニットケアは、施設の中だけで完結するものではありません。

施設が、地域で暮らし続けたいと願うお年寄りの思いを支えるための取り組みを紹介しながら、これからの施設ケアのあり方を議論します。

#### ●パネラー

釧路地区障害老人を支える会

会 長

岩 淵 雅 子

知的更生・向陽園(北海道)

施設長

六 車 潔

特養・美瑛慈光園(北海道)

施設長

安 倍 信 一

北海道老人福祉施設協議会

副会長

村 上 勝 彦

厚生労働省社会・援護局地域福祉課

地域福祉専門官

中 村 美安子

#### ●コーディネーター

東北福祉大学総合福祉学部

教 授

高 橋 誠 一

15:00～15:20

閉 会

●会場までのアクセス 地下鉄東西線東札幌駅より徒歩8分



開催日:2008年10月7日(火)、8日(水)

会 場：札幌コンベンションセンター  
(〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

主 催：「第10回ユニットケア全国セミナー」実行委員会

主 管：北海道

札幌市

社会福祉法人北海道社会福祉協議会

北海道老人福祉施設協議会

北海道老人保健施設協議会

特定非営利活動法人北海道認知症高齢者グループホーム協議会

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

共催：地域サテライトケア推進プロジェクト

安心した生活と住みやすい地域を作る実践会議

定員:850人

参加費：15,000円(当日資料代を含む)

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 会員/12,000円(法人会員はお二人様まで、個人会員はお一人様まで)

懇親会：京王プラザホテル 6,000円

## ● 問い合わせ先

「第10回ユニットケア全国セミナー」実行委員会 事務局

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

TEL:022 ( 719 ) 9249 FAX:022 ( 719 ) 9251

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平5-3-18-207(CLC内)

E-mail:unit@clc-japan.com URL:[http://www.clc-japan.com/unit\\_care/](http://www.clc-japan.com/unit_care/)